

# 「国境を越える学生の学修履歴の取扱い」 に関する公開研究会

平成 27 年 11 月 11 日（水） 11:00-18:10

於：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 別館 4 階 ホール 4B  
東京都中央区八重洲 1-2-16TG ビル（東京メトロ東西線日本橋駅徒歩 1 分または JR 東京駅日本橋口徒歩 4 分）

学生の国境を越えた移動の活発化に伴う外国人留学生数の増加、出身国や学修履歴の多様化により、我が国の受入教育機関にはどのような課題が生じるでしょうか。

大学評価・学位授与機構では、高等教育機関等が外国の学修履歴を有する者からの出願資格・入学審査等を行うにあたり、どのような支援が必要かを探るとともに、求められる情報を一元的に提供する第三者機関へのニーズを測るため、平成 25 年度より文部科学省の補助事業として、国内外の関係機関を対象に実態調査及び事例調査等を実施してまいりました。

本研究会では、海外で一元的に情報を提供する第三者機関（NIC<sup>※</sup>）の外国資格評価者<sup>※</sup>を招き、その専門性を体験していただきます。また、国内の大学等における取組事例を各講師よりご紹介いただき、外国学修履歴の出願資格・入学審査にあたり日本の高等教育に必要とされる今後の支援の在り方を議論します。寄せられた様々なご意見は本調査の最終報告に活かしていく予定です。

\* 文中の※印は裏面参照。

## 登壇者（敬称略）

Marijke Blom-Westrik

Senior Credential Evaluator, International Recognition Department, EP-Nuffic（オランダ）

Liz Campbell-Dorning

Director, Qualifications Recognition Policy, International Mobility Branch, International Group, Australian Government Department of Education and Training（豪州）

芦沢 真五

東洋大学 国際地域学部教授

太田 浩

一橋大学 国際教育センター教授

佐藤 清

長岡大学 留学生室長

白石 勝己

公益財団法人アジア学生文化協会 理事・事務局長

玉田 正樹

早稲田大学 入学センター国際アドミッションズ・オフィス課長

## 参加対象・申込方法

- ❖ 本研究会は、外国での学修履歴を有する出願者の入学（出願）資格審査に携わる高等教育機関や、本テーマに関係する機関の教職員等を主な対象として開催します。

当機構ウェブサイトからオンライン参加登録願います（参加無料 | 定員 70 名 | 先着順）  
[http://www.niad.ac.jp/n\\_kokusai/](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/)



## プログラム（予定）

※プログラムの構成や内容は変更する場合があります。

10:30	受付開始
11:00	開会挨拶・趣旨説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀ 武市 正人（大学評価・学位授与機構 研究開発部長）</li> </ul>
11:15	セッション① Qualifications Recognition in the Netherlands【日英同時通訳】 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀ Marijke Blom-Westrik (Senior Credential Evaluator, EP-Nuffic, オランダ) <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Dutch ENIC/NARIC の業務、カントリーモジュール、EAR HEI マニュアル(STREAM プロジェクト)の紹介</li> <li>◦ 資格評価の実演</li> </ul> </li> </ul>
12:45	休憩
14:00	セッション② Qualifications Recognition in Australia【オンライン講演、日英同時通訳】 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀ Liz Campbell-Dorning (Director, QRP, Department of Education and Training, オーストラリア) <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ オーストラリアの外国資格評価の仕組み、QRP が運営するデータベースの紹介</li> </ul> </li> </ul>
15:00	ネットワーキングタイム
15:15	セッション③ 日本における外国学修履歴の出願資格審査を巡る現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀ 芦沢 真五（東洋大学 国際地域学部教授）</li> <li>◀ 佐藤 清（長岡大学 留学生室長）</li> <li>◀ 白石 勝己（公益財団法人アジア学生文化協会 理事・事務局長）</li> <li>◀ 玉田 正樹（早稲田大学 入学センター国際アドミッションズ・オフィス課長）</li> </ul> <p>進行：吉川 裕美子（大学評価・学位授与機構 研究開発部学位審査研究主幹）</p>
16:30	ネットワーキングタイム
16:45	セッション④ ディスカッション <p>セッションコメンテーター：太田 浩（一橋大学 国際教育センター教授）</p> <p>進行：森 利枝（大学評価・学位授与機構 研究開発部准教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ グループ討議</li> <li>◦ 全体討議</li> </ul>
18:00	総括 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀ 武市 正人（大学評価・学位授与機構 研究開発部長）</li> <li>◀ 吉川 裕美子（大学評価・学位授与機構 研究開発部学位審査研究主幹）</li> </ul>
18:10	閉会

NIC：欧州・北米地域を中心に、NIC(ナショナル・インフォメーション・センター)と呼ばれる組織が国ごとに指定されている。センターによって形態は異なるが、外国資格評価の際に必要な情報の発信を主な業務とし、中には個々のケースの同等性審査を行う NIC もある。欧州・北米地域やアジア・太平洋地域では、ユネスコの学位・資格の認定に関する地域条約によって締約国に対して NIC の設置が課せられている。

外国資格評価者 (foreign credential evaluator)：外国の学修履歴を審査し、最終的に当該国の学習段階へ読み替えることを業務としている。例えば、大学への留学希望者の学修履歴が、受入国で定められている入学資格に相当するかを判断する。同時に、提出書類(成績証明書や修了証など)の真贋の確認が必要となる場合や、成績評価の読み替えを行う場合もある。

Dutch ENIC/NARIC：オランダの NIC。EP-Nuffic という教育の国際化を推進する団体の中に置かれている。外国の学修履歴と同等のオランダの資格を審査するだけでなく、オランダの学修履歴を外国のものに読み替えるサービスも提供する。さらに、Country Modules と呼ばれる世界 70 ヶ国以上の教育制度情報や学歴証明書サンプルをまとめた資料を無償で提供している。また、高等教育機関の資格評価者に向け、外国の学修履歴審査に対する考え方や方法をまとめた EAR HEI マニュアルを他の NIC と共同で開発。現在、同マニュアルを用いた資格評価者向け研修を行う STREAM プロジェクトのプロジェクトリーダーを務めている。

QRP (Qualifications Recognition Policy)：QRP は豪州教育訓練省内の一部門で、政府によって指定された NIC である。個別のケースの資格評価はあまり行わず、情報提供や資格評価を推進する事業(例えば、職能団体による研修など)への助成を主要業務としている。また、Country Education Profiles というデータベースを有料で公開しており、ここには世界 120 ヶ国以上の教育制度情報が網羅されている。